

善徳

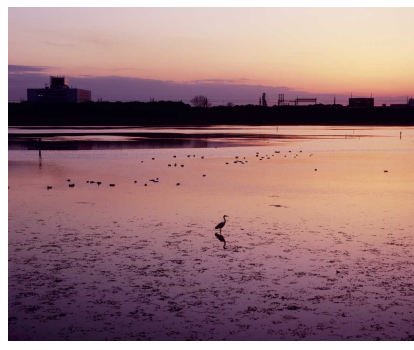
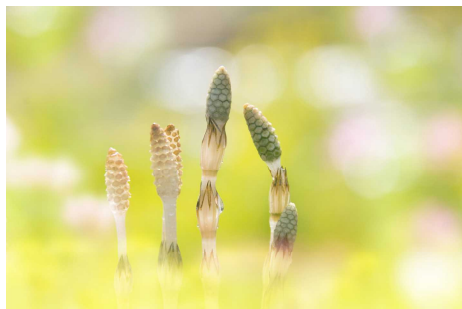
七三四一〇〇〇四
 広島市南区宇品神田四一十一八
 善徳寺
 電話 〇八二一二五一六〇二九

日 3 写真是真実を映し出しま
 3 す。自分では若いつもりで
 1 いても、写真を見て老けて
 1 みえると思つて、ガッカリ
 4 することがよくあります。
 年 映っているものが、他人
 5 から見た真実の姿なのです
 和 が、自分では写真移りのせ
 令 いにしたりしますね。
 だけど、十年以上たつて
 からその写真を見ると、「あ
 の時は若かったなあ」とし
 みじみ思つことがあるんじ
 やありませんか？
 そうなんです。今、一番
 若いときを過しているの
 です。
 子供の頃は成長するのが
 待ち遠しくて、早く大人に
 9 なりたいと思つたりします
 4 が、念願の大人になった途
 4 端、今度は老化して見た目
 が衰えていくのが怖くなっ
 てきます。

昔に比べてすっかりおばさ
 んになったとか、おじさんにな
 ったとか、昔は良かったと
 か、今の自分に否定的な気持
 ちになりがちですが、そんな
 ことはありません。これから
 の人生において、今が一番若
 いのです。
 生命がある限り、できるこ
 とはなんでもあるはずす。
 ああすればよかったとか、
 こうすればよかったかと思わ
 なくてもいいように、今のこ
 の時を精一杯生きましよう。
 そして、人間に生まれ、仏
 法を聞くことのできる幸せを
 受け取って下さい。
 仏教には六道輪廻という思
 想があります。
 生命は、人間、天人、修羅、
 餓鬼、畜生、地獄という六つ
 の世界を生まれ変わり、死に變
 わり、くまなく巡つて
 いるのです。

その中で、人間に生まれ
 ることは、とんでもなく低
 い確率だといえます。
 お釈迦様がある日阿難に
 尋ねられました。
 「お前は人間に生まれた
 ことをどう思つか」
 阿難が「大変喜んでおり
 ます」というと、また尋ね
 られました。
 「どのくらい喜んでいるか」
 阿難が答えに迷っている
 と、「人間に生まれることは
 とても難しいのだ(有るこ
 とと無い)」と、「盲亀浮木の
 たとえ」を言われました。
 大海に住む盲の亀が、百
 年に一度浮かび上がって海
 から顔を出し、その時たま
 たま穴があいた木が流され
 て来てきてその木の穴に頭
 を入れる確率だと言われた
 そうです。
 そんな低い確率の人間の
 いのちを今頂いているので
 す。そして、人間に生まれ
 ても、仏法に遇つことがま
 た難しいのです。
 その仏法に出逢っている

今、その機会を逃すことなく、
 悟りの世界に入つてほしいと
 いう仏様の願いが私にかけら
 れています。
 聞くことのできるのは今し
 かありません。是非お聴聞に
 おいで下さい。



敬 弔
 お浄土に参られた方を謹んで
 お知らせいたします。
 三月十四日寂 吉島新町
 白藤 誠様 行年六十四才

春季永代経法要

四月二十日 (木) 昼席一時
 二十一日 (金) 昼席一時
 講師 深川 明光寺 牛尾 かおり 先生
 尚、十九日(水) 午後一時より、仏具のおみがきをします
 お手すきの方はお手伝い下さい

令和五年度後期

回忌法要案内(敬称略)

一周忌(令和四年度)

八月 中神和子 坂井照千代
平木峰登 野中正則

佐伯信義

九月 久保田正枝 新堀フミ工
十月 安達俊雄 今本敏晴

濱井ミツコ 稲元文行

十一月 林 智子

十二月 池本シゲ子 崎本幸夫
中村千恵子 戸田淳子

三回忌(令和三年度)

八月 川本貞勝 余頃 悟

佐伯政行

九月 増田稔夫 大儀憲人

十月 村本サカ工 石田多香子

佐々木信隆 北辰栄美子

石地たかえ

十一月 高瀬清 山口清

上本哲司



七回忌(平成二十九年)

八月 大野美智子 村岡澄江
宮下ミサヲ 上本昭子

九月 小路毅 柄島秀樹

十月 原田サチコ 古田房子

村本至徳 小川佐代子

川本ヨシ工

十一月 井上幸男 村上正人

十二月 佐々木千枝子

岡栄良子 前岡千鶴子

大原美代子



十三回忌(平成二十三年)

八月 海野州生 上本喜彦

大屋久代 竹末時子

山口源三

九月 小川憲三 上本信江

十月 福本フミ工 中元頼子

十一月 井原福栄 村上澄江

尾本秀三 川崎之信

十二月 大成兼重

下山武彦 出村忠行

大丸善紀 東堂信子

高倉治

十七回忌(平成十九年)

八月 北榎シマ子 岡田忠義

上木クラ工

九月 山野有三 勝井達夫

乙井ミツ工

十月 西本信廣 横川テル

新川時和 大戸博和

半田良子 中土井トキ工

十一月 海野哲治 土肥博明

十二月 瀧戸孝輝 瀬木邦司

日浦トシ工 平野豊

小早川政信 樋口和康

濱田キヨコ 小島武文

大澤千鶴子 棟本ミキ工

二五回忌(平成十一年)

八月 松本年雄 松下春子

九月 関富子 小山田俊三

羽木覚 清井睦代

十月 岡本誉福 中尾康子

十一月 米田トモ子 新宮志げ

山縣アエ工

十二月 栗栖利明 坂本関好

村本友一 吉原恭一

紫垣ヒナ

三十三回忌(平成三年)

八月 網本勇 佐藤紀子

九月 岡本信子 酒井梅夫

十月 小石浩士 吉川信繁

十一月 伊藤正八 金川伸次

高畑ハマ子 世良清三

樋谷進 古沢明

十二月 河本秀夫

五十四回忌(昭和四十九年)

八月 堀資勝 沖島為雄

那須正男 木村健二

西本玉枝

朝岡重郎 花本栄

山手熊一 坂口勝朗



行事案内

五月法座は未定です。

原爆忌法要

日時 八月三日(木)午後一時

講師 吳市阿賀 称名寺

南 秀和 先生

秋季永代経法要

日時 十月十二日(木)午後一時

十三日(金)午後一時

講師 江田島市 光源寺

海谷 真之 先生

報恩講法要

日時 十二月八日(金)

朝席 十時

風席 午後一時

講師 大三島町 万福寺

浅野 執持 先生

